

2016年3月14日

イビデン(栴衣浦事業場 貯木場跡地)に日本最大級の水上フロート式太陽光発電を開始

イビデンエンジニアリング株式会社(本社:岐阜県大垣市、代表取締役社長:山内 英俊)は、イビデン(栴衣浦事業場貯木場)に自社開発のフロートを使用した日本最大級の水上フロート式太陽光発電所を建設し、2月15日に発電を開始し、本日3月14日に無事竣工式を迎えました。

この水上フロート式太陽光発電には、7,680枚の太陽光パネルが使用されており、認定出力1.99MW、年間予想発電量は約2,400MWhを想定しております。これは一般家庭で約660世帯分に相当し、年間のCO₂排出削減量は約1,120トンを見込んでおります。発電した電力は電力会社に売電します。

フロート架台は水上に設置されるため、軽量で腐食に強い高密度ポリエチレン製で開発しました。(特許申請中)太陽光発電は通常外気温が上がる夏には発電出力が下がりますが、水上フロート式は冷却効果が期待でき、野立型の発電設備に比べ、5%程度の発電量の増加が期待できます。

イビデングループは、これからも人と地球環境を大切にします。



以上